

平成 30 年 11 月 22 日

受験者の皆様へ

神戸大学 入試・学生担当理事
藤 井 勝

出題ミスのお詫びとお知らせ

平成 31 年度（2019 年度）神戸大学「志」特別入試 文学部最終選抜試験（平成 30 年 10 月 28 日実施）におきまして、小論文の問題に下記のとおり問題主文の重複・誤字等があることが判明しました。

問題主文の重複・誤字等については、問題主文の主旨及び設問の内容を検証し、解答には影響がないことを確認するとともに全答案について当該ミスの影響の有無を検証し、その影響がないことを確認しました。

また、配点の記載誤りについても、設問ごとの配点比率は同じであるため、可否に影響はないと判断しました。

これらに基づいて、11 月 22 日に合格者発表を行います。

受験者ならびに関係の皆様にご迷惑をおかけしましたことについて、お詫び申し上げます。

記

出題ミスの内容：問題主文の重複・問題主文の誤字・設問の誤字・配点の記載誤り

問題主文の重複

誤：あるひとたちは、A I の普及が管理社会を生みだすとか、人間が機械に支配されるようになるとか、個人のプライバシーがなくなってしまうとか、人間が機械に支配されるようになるとか、人間の仕事が奪われるとかいって

正：あるひとたちは、A I の普及が管理社会を生みだすとか、個人のプライバシーがなくなってしまうとか、人間が機械に支配されるようになるとか、人間の仕事が奪われるとかいって

問題主文の誤字

誤：クラウド（群衆）という霧のなかにおいて

正：クラウド（群集）という霧のなかにおいて

問題主文の誤字

誤：安い若手の労働者が減っていくにつれて

正：安い若手の労働者が減っていくにつれて

設問の誤字

誤：問一傍線部①「A I が普及し得る社会が到達したから、A I が出現した」

正：問一傍線部①「A I が普及し得る社会が到来したから、A I が出現した」

配点の記載誤り

誤：小論文 二〇〇点、問一 配点四〇点、問二 配点六〇点、問三 配点一〇〇点

正：小論文 一〇〇点、問一 配点二〇点、問二 配点三〇点、問三 配点五〇点